

刊 行 の こ と ば

恒例の「社会保障研究所基礎講座」は、第4回を迎え、多数の参加者をえて、昨年10月に、東京において開催されました。

周知のように、現在、全国レベルだけでなく、各種の地方レベルにおいても、地域開発計画の再検討や、策定が行われています。たとえば中央レベルでは「新全国総合開発計画」の検討をはじめ、経済企画庁だけでなく、自治省、建設省その他の省庁においてもいろいろの計画策定の動きをみることができます。また都道府県・市町村レベルにおいても、従来の長期計画、県政振興計画などの修正や新規策定なども数多くみられるようです。その意味で地域開発あるいは地域計画が今日改めて注目されているということができるといえます。

このような動向に鑑み、本基礎講座は、「地域開発と社会保障」を共通テーマとしてとり上げました。そしてとくに地域計画、社会福祉計画に焦点をあて、その事例報告に基いて、ゼミナール形式の研究・討議を新しく試みました。何しろ最初の試みでもあり、この計画が十分に成果をあげたかどうかは若干問題はあるかも知れませんが、積極的な意図をおくみ取りいただければ幸甚です。

基礎講座は、本誌に掲載した9人の先生方のほかに、「経済と社会」(山田雄三)、「社会福祉と地域計画」(三浦文夫)、「社会保障の問題と方向」(小山路男)が加えられ、合計12の講座がもたれました。

本来であれば、上記のすべての講義内容を本誌に掲載すべきでしたが、誌幅の都合で山田、三浦、小山の三先生の講義は割愛しなければならなくなりました。また事例報告についても、参加者の質疑応答を含む討議内容の紹介および司会者総括も掲載する予定でしたが、これらも一部をのぞいて割愛しなければならませんでした。関係の諸先生方のご海容をお願いする次第です。

本誌に掲載された論文は、速記をもとに、諸先生方に加筆訂正をお願いしました。なお文体などについて編集部で訂正した箇所もないわけではありません。とくに事例報告については、報告者の方々に目を通していただくことができず、編集部の責任で文体の統一をはかりました。これらの点について関係の方々のお許しを願うと同時に、思わぬ誤りがあるとすれば、それは編集部

の責とご了解いただきたいもの

昭和44年



社会 保 障 研 究 所